

郡上市

市民協働センター

情報誌 第5号
2013年(平成25年)10月号

第5回 郡上市まちづくりフェスティバル

開催のお知らせ



日時 平成25年11月30日(土)
午後1時から

場所 郡上市役所大和庁舎 2F 防災研修室

- ♪昨年のコンテストその後(報告)
- ♪地域の課題解決のために活動している団体の発表
- ♪今年も開催します！
- 「第2回まちづくりプロジェクトコンテスト」

「まちづくりプロジェクトコンテスト」 ご応募お待ちしています！

郡上市市民協働センターでは、第2回まちづくりプロジェクトコンテストを開催します。

【一般・高校の部】では、市民の皆さんに、地域課題を解決するための市民同士あるいは市民の皆さんと行政が協力して取り組む活動のアイデアを提案していただきます。

「市民と市役所がこういう分野で力を合わせたら郡上はもっとよくなるはず！」「〇〇と△△がああいう部分で連携すれば郡上はより元気になるのでは？」

というような皆さんの考え方や想いを、この機会にぜひご提案ください。

※ご提案は、市民協働センターを通して実際に事業化する可能性があります。

応募用紙は？

- ①郡上市市民協働センターホームページよりダウンロードできます。
<http://www.gujo-siminkyodo.org>
- ②センターに連絡いただければご本人様宛に送付致します。
- ③各振興事務所にも設置しております。
- ④ご応募は、必要事項を記入の上ご持参・FAX・メール・郵送のいずれかの方法で市民協働センターまでご提出下さい。締切：10月31日



うそでしょ！？実現すると思ってなかった～ 郡上ゆかたコレクション 2013



台風接近で天候が心配された9月1日（日）。

当日、不安定な天候のため開催場所の決定が準備開始ギリギリまで検討され、関係者皆が祈るような思いで、雨があがることを願っていました。そんな中、たくさんの方々の熱い思いが雨を吹き飛ばし予定通り新町通りで「ゆかたコレクション2013」が開催されました。



この企画は、昨年のまちづくりプロジェクトコンテストで、当時中学3年生の5人の生徒さんたちからの「浴衣に合う小物を製作し浴衣のファッショショーンショーを開催したい。」というアイデアから始まりました。この提案と郡上八幡観光協会さんの「ゆかたコレクション」がタイアップすることが決まり、実行委員会が組織され、市内の様々な分野の人たちを巻き込んでの開催となりました。



「さをり織り」制作風景



郡上特別支援学校

「さをり織り」下駄&ポシェット



郡上特別支援学校&Chocotteさん

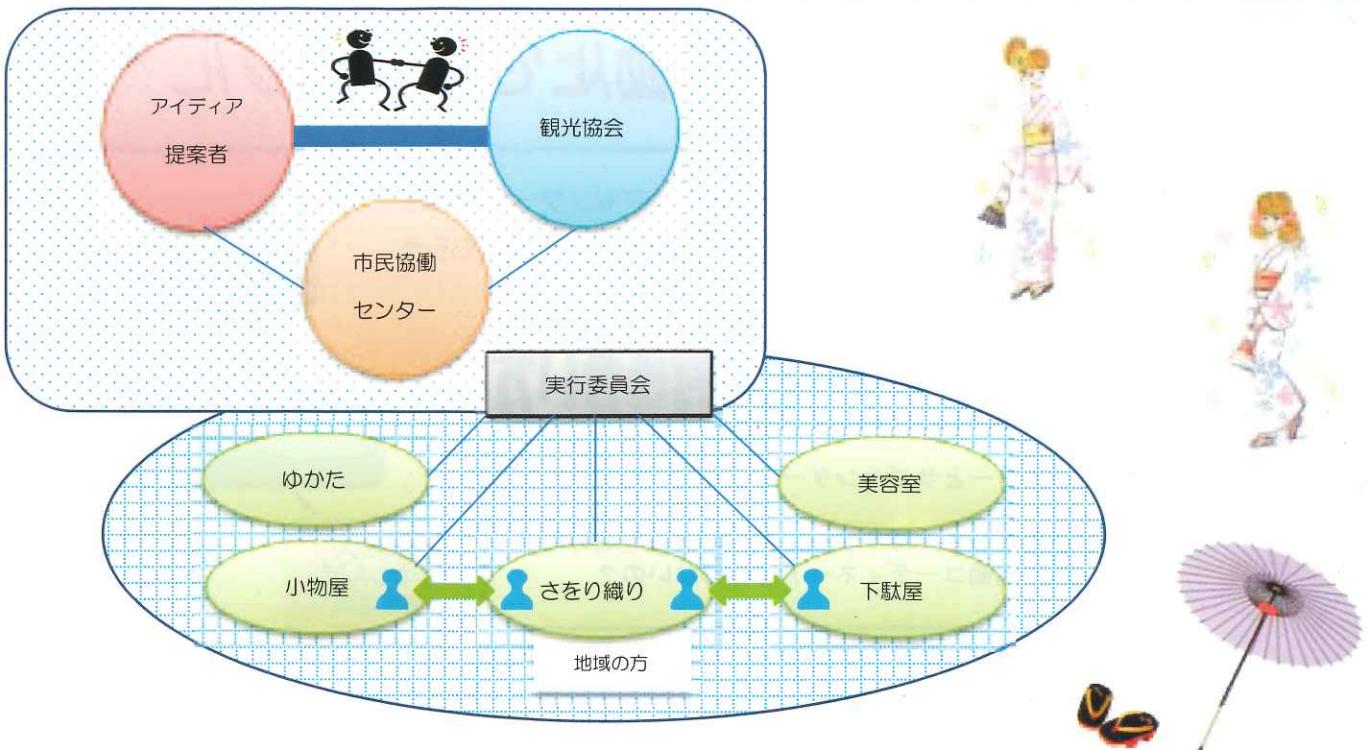
参加賞 ティッシュケース等



障がい福祉サービス事務所 みずほ園さん

当日、会場では小物販売もされました。事前問い合わせが殺到していた「さをり織り下駄」は郡上特別支援学校と下駄屋さんがコラボし出来上がったものです。また、郡上特別支援学校とChocotteさん（子育て・親支援団体）がコラボした踊れるポシェット・グラニーバッグ・ヘア飾り等の小物も販売され大盛況でした。今後、どちらの商品も生産体制と流通ルートを確保して量産できる方向でお話が進んでいます。





こんな事あったらおもしろいなあ～という生徒たちのアイディアから生まれたこの企画は、たくさんの大人達の協力により実現しました。想像以上に人ととのつながりが広がり、元々あるつながりが拡大したり、新しいつながりが生まれたりして、様々な分野の人たちを巻き込んだ素晴らしいイベントとなりました。それぞれの立ち位置から一步踏み出し行動に移すことで市民協働は生まれ、その可能性は無限大です。

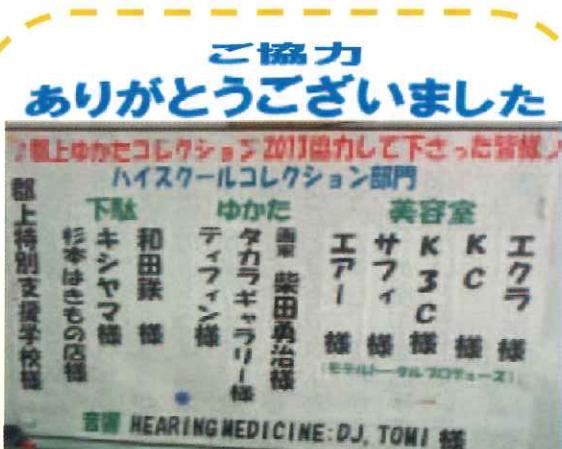
市民協働センターは、今後もパイプ役として思いから実現へ向かうお手伝いができればと思っています。実現の第1号となった提案は、大人たちをワクワクさせ、動かしてしまうような魅力溢れる提案でした。そんな提案を頂いた5人に感謝しています。今年のまちづくりプロジェクトコンテストには、どのような提案が寄せられるのかが楽しみです♪

提案者である5人の生徒たちの声

「モデルの子たちがとてもかわいく変身していて、私たちが考えた以上の企画になった。実現できてうれしい。また、来年もやりたい！」と満足そうな様子で語ってくれました。

会場からの声

「とても楽しいイベントで見応えがあった。ゆかたや小物のデザインが今後、郡上ブランドとして外に発信していくとおもしろい。ショーやモデルさんが着ていたゆかたが欲しくなった。」と、子連れで見に来てくれたママさんが語ってくれました。



- 美容室（ヘアメイク・小物のコーディネート）
 - 下駄屋（下駄提供）
 - アーティスト（浴衣提供）
 - 郡上特別支援学校（さきり繪り）
 - 音響

サブセンター協定を結びました

市民協働センターは、今年新たに3つの民間団体とサブセンター契約を結びました。より市民に近い場所で、相談業務や協働事業を進めていくためです。

和良おこし
協議会
(和良地域)

郡上市市民協働
センター

NPO法人
ななしんぼ
(明宝地域)

NPO法人
コミシス郡上
(大和地域)



サブセンターとの付き合い方

センターとサブセンターはどう違うの？

協働センターはサブセンターのある地域の相談や協働コーディネートは行わないの？

そんな疑問にお答えして、両者の役割をわかりやすく説明します。

活動したい地域で市民協働の相談をした方が、その解決方法や具体的なパートナーを見つけやすいという利点があります。そんな場合はまずはサブセンターにお話し下さい。

サブセンターでは地域で解決できることを担当し、広域で取り組む必要があるものはサブセンターから協働センターに依頼します。

実現したい協働事業について「どんなパートナーが必要なのかわからない」というような時は、まずは市民協働センターにご相談ください。協働コーディネーターが内容を伺い、相談者に必要なパートナー（またはサブセンター）を紹介し、具体化をお手伝いします。



《編集後記》

先月9月1日、八幡町内にあるやなかの小道から新町通りにかけて、あでやかで斬新な浴衣に身を包んだ11人の高校生たちが多く見物客の前を颯爽と歩きました。

昨年12月に市民協働センター主催で開催された「第1回まちづくりプロジェクトコンテスト」で当時中学生だった5人の女の子が発表したプラン、「GGC-郡上ガールズコレクション」が現実のものとなつた瞬間です。

この夢のプラン実現の過程には、本当に多くの協力がありました。浴衣はシルクスクリーン印刷の手ぬぐいを仕立てたものや、地元のアーティストが手掛けたオリジナルをお借りし髪留めや、帯飾りなどの小物は郡上特別支援学校の生徒さんたちが手作りした「さり織り」を使用、小物やヘアメークも含めた全体のコーディネートは地元の美容室5店舗が手掛けてくれました。

彼女たちの姿が会場でひときわキラキラと輝いて見えたのは、若さが醸し出す雰囲気だけではなく、今回関わってくれた多くの人の「想い」を纏っていたからではないでしょうか。センターが持つ役割のひとつに「ネットワーク・コーディネート」があります。今回この役割を果たしつつ、市民から生まれた夢の実現に関わることができたことはセンターとして大きな成果だと自負していますし、これからも市民の「想い」を繋ぎ、「夢」の実現をお手伝いできる組織としてあり続けたいと思っています。

運営委員 水口 晶



郡上市
市民協働センター

〒501-4607 郡上市大和町徳永 585 番地 郡上市役所 大和庁舎 1階

業務日時：月曜～金曜 8:30～17:15（土・日・祝祭日・12/29～1/3を除く）

※事前にご予約いただければ、平日は20:00まで、土・日曜日は10:00～17:00まで対応可能です。